平成29年度第3学年　学年通信
『自立と協調～そして感謝と思いやり』

Boys and girls, be
Ambitious

第58号（通算146号）
3月2日（金）
文責　江口　春斗

最高に素敵な1年をありがとう。

卒業、卒業と言ってきましたが、とうとう今週卒業となります。こんなにもあっという間に、1年というものは過ぎ去るのかと改めて実感しています。2017年4月から西朝明中学校、そして3年生の一員となり、自分は年齢も近いからか、とても近い立場で一緒に楽しませてもらった1年でした。廊下を歩けば「えぐちゃ～ん」「江口先生～」と気軽に声をかけてもらいながら、いろいろな話をすることができて、とても楽しかったです。また、学年の写真係だったこともあり、みなさんのイキイキとした姿や全員で一つのものを作り上げる瞬間を収め、その場に居合わせることができたのは、なにより嬉しいことでした。

また、修学旅行や体育祭・文化祭といった行事も、とても印象深いです。修学旅行では、慣れない東京という地で、事前学習通りにしっかりと自分たちで判断して動く姿に感動。体育祭で、最初のダンスの状態から全員が一体となったダンスに仕上げていく姿に感動。文化祭も各クラス・学年合唱の最初の状態から本番まで上げていく姿に感動と、感動させられっぱなしの1年でした。みなさんの成長具合というか、爆発的な伸びにはびっくりさせられるばかりで、普段休み時間に見せる表情と、ここ一番の舞台で見せるときの表情の違いは、とても素敵なものでした。

普段の授業でも、皆さんには感謝することばかりでした。初めての3年生ということもあり、授業も日々どんな授業にしようか試行錯誤しながらの毎日でしたが、真剣に聞いてくれる皆さんがいてくれたことで、自分も楽しんで3年生の授業を行うことができました。私は文章を読んだり書いたりすることが好きで、国語を通して皆さんにもそんな機会をたくさん作ってきましたが、4月当初と今の3月では文章量はもちろん、文章の内容も質の高いものになってきていて、この1年書くということを意識して授業をしてきてよかったと改めて感じています。「継続は力なり」という言葉もありますが、積み重ねてやり続けることでこれだけの力につながるんだと、みなさんの成長から改めて学ぶことができました。今後生きていくなかでも、1つ1つの機会に全力で取り組むという姿勢を大切にして、人生を歩んでいってほしいと思います。

誇りの持てるものを見つける旅へ

「友情と愛、そして誇りの持てる仕事がある。この3つがあれば、僕は生きていける。」先日、「グレイテスト・ショーマン」という映画を見たんですが、そのなかである登場人物がこんなセリフを言っていました。

私は、中学時代、自分のやりたいことを見つけることができず、部活も転部を繰り返し、煮えきらない毎日を過ごしていました。でも、高校に進学し、大学進学という夢を抱き、3年間かけて取り組む目標を見つけました。志望する大学に合格し、進学したあとは、誰よりも大学を楽しむという目標を決め、韓国やタイに研修に行ったり、ライターとして書く仕事をしたりと、自分なりの人生の歩み方を考え、今は教師という誇りの持てる仕事に生きがいを持って携わっています。

私は、中学時代のような日々を過ごしたくないと思いながら高校以降の人生を歩んできました。皆さんはどうでしょう。充実した思いで卒業する人。煮え切らない何かを持って卒業する人。長い人生、これから自分次第でどうにでも変えられます。心の誇りを失わずに、あなたの人生を、あなたの足で、あなたが方向を決めて歩んでいってください。